

『小児特発性ネフローゼ症候群診療ガイドライン 2020』追加情報

2024年11月22日
診断と治療社 編集部

* 補遺

「小児期発症難治性頻回再発型・ステロイド依存性ネフローゼ症候群に対するリツキシマブ療法後の後療法」に関する補遺が、CQ3'として2022年8月に作成され、日本小児腎臓病学会のホームページ (<http://www.jspn.jp/guideline/pdf/syounitoppatsusei.pdf>) に掲載されています。

* 「適応外使用」と記載のある薬剤について

本ガイドライン作成時(2020年3月)には適応外使用であった薬剤のうち、以下の二点に関して変更があります。

①小児頻回再発型・ステロイド依存性ネフローゼ症候群に対するミコフェノール酸モフェチル投与 (p.39, CQ2)

2022年2月に社会保険診療支払基金から、当該疾病に対するミコフェノール酸モフェチルの使用に関して、審査上認める通知が出されています。(362小児科59)

(https://www.ssk.or.jp/pressrelease/pressrelease_r03/press_040228_1.files/040228_26_ika.pdf)

②ステロイド抵抗性ネフローゼ症候群の追加治療としてのリツキシマブ投与 (p.61, E)

2024年9月に小児期発症の難治性(既存の治療では寛解の得られない)のステロイド抵抗性ネフローゼ症候群に対して、リツキシマブの適応追加承認取得がされました。